

2012年 4月号  
通巻 122号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16  
電話019-651-0810  
FAX019-653-1057  
岩手県同胞生活相談総合センター



東日本大震災1周年追悼式

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ songsu75@yahoo.co.jp

## 茨城朝高で卒業式

3月4日、茨城朝鮮高校にて李貴海トナム（前沢市・李貞志さん次女）、盧偉康トナム（北上市・金栄順さん長男）が同校を卒業した。

卒業生たちは昨年3月の大震災や高校無償化除外など様々な困難にも屈せず、民族教育のぬくもりの中で充実した学窓生活をおくった。



貴海トナム、偉康トナムとその家族

貴海トナムは東京の専門学校に、偉康トナムは朝鮮大学校に進学する。卒業おめでとう！

## 朝青(チョチョン)公演 <継承 アプロ>

3月18日、東北朝鮮初中級学校にて東北6県朝青員たちの総合文化公演<継承 アプロ>が行われた。

金日成主席生誕100周年を記念し、また震災以降支援をくれた各地同胞への感謝、復興への決意を表す今回の公演は総勢250名が参加し行われた。

バンド、漫才、舞踊、サムルノリ、兵庫・神奈川朝青員たちによる友情出演、大合唱など様々な演目が準備されたなか、岩手からは曹慶柱、許世孔、朴勇基トナムが出演した。

朝青員たちは今回の公演成果に満足せず、東北・福島ハッキョ復興支援活動により積極的に取り組み、6月に行われる青商会『ウリ民族フォーラム in 宮城』を成功させるため、一丸となって取り組む事で東北地方同胞社会の新たな全盛期を築いて行こうと誓った。これからも朝青に注目です！

[朝青東北地方委員会]



## 「東日本大震災1周年犠牲同胞合同追悼式」挙行

■悪夢のようなあの日から1年が経った11日、「東日本大震災1周年犠牲同胞合同追悼式」が東北朝鮮初中級学校で挙行された。総連中央の朴久好副議長兼権利福祉委委員長、宮城、福島、岩手、茨城県の総連本部委員長、犠牲になった同胞の遺族と被災した同胞、各中央団体と関東や東北地方の活動家と同胞たち200余人が参列した。■参列者たちはまず、大震災犠牲になった同胞たちを追悼し黙とうし、朝鮮の海外同胞援護委員会から送られてきた追悼電文を朴で副議長が朗読した。■続いて、総連宮城県本部の李英植委員長が追悼の辞を述べた。李委員長は、大規模の大地震と津波、福島第1原発爆発事故による放射能汚染が拡大するという恐怖と不安のなか、金正日総書記から送られてきた慰問金と慰問電は、被災地の総連組織と同胞たちの復興、再生への力になったと述べ、そのような総書記の愛と配慮を、代を継いで永遠に忘れることはないだろうと指摘した。そして、朝鮮学校を拠点に同胞たちが相互扶助の精神を発揮し、救援、復興活動に励んできた1年間を振り返り、今後は祖国の配慮と在日同胞の支援の下、地震で破壊された東北初中の新校舎建設事業を推進し、6月に東北地方で初開催される青商会の「ウリ民族フォーラム」を成功させ、総書記の配慮に応えていきたいと抱負を語った。■「朝鮮学校を支援する100人委員会」の高橋治代表幹事、仙台市議会の鈴木しげお議員（前仙台市議会議長）、総連茨城県本部の李栄勲委員長、総連福島県本部の張泰昊委員長、総連岩手県本部の崔成守委員長が犠牲になった同胞に深い哀悼の意を表した。■参列者たちは、東日本大震災で犠牲になった同胞を追悼し献花した。[朝鮮新報 web 版 3/15]



厳粛に行われた追悼式



参列した岩手県本部委員長

## いもじも掲示板!

### ■東北ハッキョ入学式

日時：4月5日(木) 午前10時～

場所：東北ハッキョ 食堂

### ■みちのくKKフェスタ～わくわく♪キャンプ～

日時：5月5日(土)～5月6日(日)

場所：国立 花山青少年自然の家(宮城・栗原市)

対象：東北6県在住の小学生以下の在日児童

参加費：子供 - 無料、大人 - 1人1,000円

(主催：東北6県 青商会)

### ■金日成主席生誕100周年記念 岩手同胞祝賀会

日時：5月15日(火) 午後2時～

会場：本部会館

### ■ウリ民族フォーラム in 宮城 ～ALL東北!心をひとつに!～

日時：6月24日(木) 10:30開場/11:00開演

場所：仙台市民会館

## <ウリウネンの日>開催

3月14日、ウリ信用組合岩手支店で「ウリウネンの日」が開催された。当日は1月に仙台でオープンしたミュージックスクール『Ammy』によるジャズコンサート、そして本誌「ドクターカンの健康講座」でもおなじみの『幸クリニック』院長である姜幸一先生による特別講演が行われた。

参加した39名の県内同胞や日本の方々は、共に楽しい一日を過ごした。

Ammyの演奏で会場は  
大いに盛り上がった→



←ドクターカンによる  
特別講演  
『放射線と食を考える』

## ドクターカンの 健康講座



### 第111回『高齢者のうつ病』

高齢者は認知症が注目されがちですが「うつ病」もほかの世代に比べて多いため早い対応が大事です。

そして自殺が多いことから注意が必要です。

高齢者にうつ病が多いのは皆さんすでにおわかりのように配偶者や友人など身近な人の死に直面する機会が増えそのショックがうつ病を発症させることが少なくありません。又老化による体調不良に対する過剰な不安が若い時よりも強く感じるのも発症を助長させます。

ところで高齢者のうつ病は老化現象の1つと誤解され周囲がうまく対応していないのが現状です。今までなかった身体症状や精神症状が2週間以上続いたらうつ病と疑いましょう。

どういう症状に注意が必要でしょうか。

高齢者のうつ病は「**元気がなくなる**」「**家に閉じこもりがちになる**」などの精神症状や「**食欲低下**」などの身体症状、そして「**不眠**」も大事なサインでそれが毎日続きます。

高齢者の「うつ病」は「認知症」とまちがわれることがよくあります。それは「**もの忘れ**」などの共通の症状が見られるからです。

しかし同じような「もの忘れ」ではありません。認知症では半年とか1年とか長い時間でゆっくり

だんだんはっきり「もの忘れ」が出ます。又認知症ではもの忘れを軽く言ったり時には否定したり、しつこく問いただすと反抗的になったり怒ったりもします。

脳卒中を起こした人の半数近くがうつ状態やうつ病になるといわれています。その理由は脳へのダメージや「麻痺」や「失語症」などの後遺症のストレスがうつ病を招きやすくします。

「認知症」と「うつ病」の治療方法は根本的にまったく違いますが「認知症」と「うつ病」が合併することもありますのでやっかいです。

うつ病の治療の基本は若い人のうつ病と同じようにやはり「**抗うつ薬**」です。なるべく副作用の少ない薬を服用させます。かなり有効です。

しかし薬以上に大事な治療は孤独にさせないということです。大変でしょうが周囲との交流が少しでも心の張りや生きがいになるようなサポートが最良の治療です。交流が当たり前だった昔は「うつ病の人」を聞いたり見たりしたことはほとんど記憶にありませんよね。今の高齢者は交流が当たり前の時代の人々です。なので「人との交流」を是非サポートしてあげたらいい結果になると確信しております。

やっとなんか。ドンドン歩きましょう。



(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)